

ご家族の皆様

特別養護老人ホーム五天山園よりお知らせ

新型コロナウイルス感染症が世界的に収束の気配を見せておりません。今後も第三波が懸念されるどころです。

特別養護老人ホーム五天山園及び法人内の事業所は、感染防止について職員の行動記録や新しい生活様式の徹底など万全を期しております。しかし、世界情勢や首都圏、北海道、札幌近郊の状況を鑑みると、第三波を予測して準備を進めておく必要性を強く感じている所です。そのことが結果として利用者やご家族、スタッフを守ることに繋がると考えております。

国内では、新型コロナウイルスの感染症が発生した施設では入院ができず、施設で少ないスタッフが支援するといった状況が見られました。そこで、五天山園では、万が一、施設内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合を想定した事前説明書とその同意をいただくこととしました。

これは、万全を期して防止対策を図ったとしても、万が一、施設内で発生した場合に想定される内容を記したものです。新型コロナウイルス感染症自体は、指定感染症のため陽性が判明した時点で原則入院となりますが、施設などの入居者が入院できないケースが散見されたことを踏まえ、仮に入院が出来なかった場合に施設での対応を想定し作成したものです。全てがこの説明のようになるとは限りませんが、利用者及びご家族と事前の情報を共有するためのものです。

引き続きご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

特別養護老人ホーム五天山園
施設長 齋藤 勝次